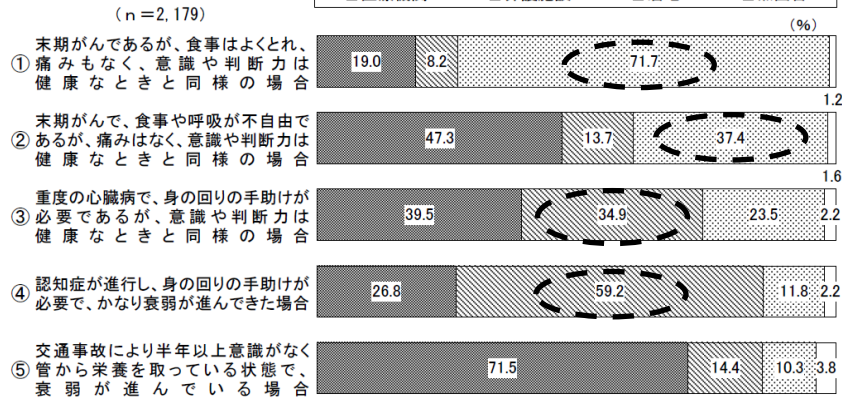


暮らしの場における看取り支援事業

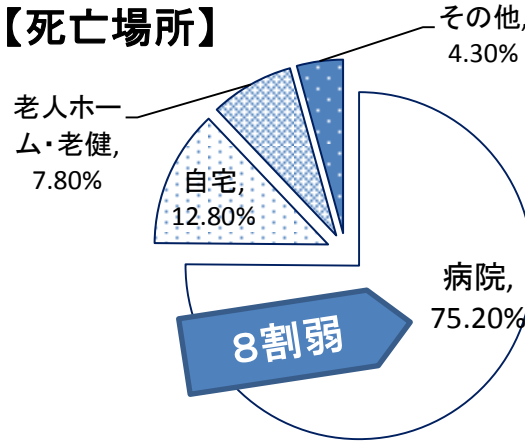
《現状と課題》

【人生の最終段階を過ごしたい場所】



「人生の最終段階における医療に関する意識調査」(厚生労働省、H25.3)

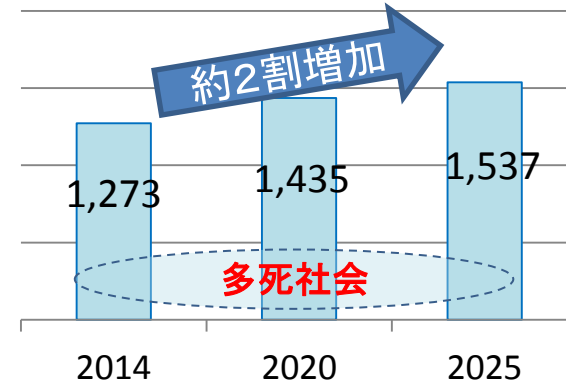
【死亡場所】



「人口動態調査」(厚生労働省、H26)より作成

【死亡数の推計】

(単位:千人)



「平成28年版高齢社会白書」(内閣府、H28)より作成

⇒ 人生の最終段階を暮らしの場である自宅や施設で過ごす希望は多いが、実際には8割弱が病院で死亡
 ⇒ 地域包括ケアシステムの理念に基づき、死亡時の看取り等も含め、本人の意向に基づくケアを提供できるような体制を構築

看取りに関する国の動向

【平成27年度介護報酬改定】

◆看取り期における対応に対する加算の充実

- 小規模多機能型居宅介護: 看取り連携体制加算 (新設)
- 介護老人福祉施設等: 看取り介護加算 (拡充) 等

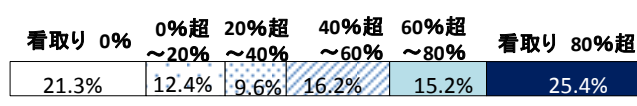
【平成28年度診療報酬改定】

◆看取りの実績を有する在宅療養支援診療所・病院に対する加算の充実

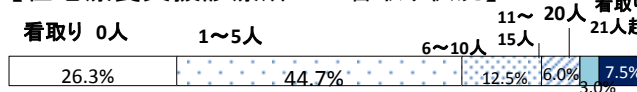
- 在宅緩和ケア充実診療所・病院加算 (新設) 等

看取りの現状と課題

【特養での看取りの状況】



【在宅療養支援診療所での看取り状況】



【看取りにあたって困難を感じること】

- ◆ 本人のターミナル期の希望がわからない
- ◆ 家族の不安や負担に対するサポート
- ◆ ターミナル期の判断
- ◆ 十分な職員数の確保
- ◆ 職員への教育
- ◆ スタッフの精神的負担へのサポートやケア
- ◆ 個室の確保 等

全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議資料(厚生労働省、H27.3)及び平成28年度診療報酬改定の概要(厚生労働省、H28.3)より作成

「長期療養高齢者の看取りの実態に関する横断調査事業報告書」(みずほ情報総研、H26.3)より作成

⇒ 介護報酬、診療報酬ともに、看取りに関する加算が新設・拡充
 ⇒ 看取りの対応状況は事業所等によりさまざま
 ⇒ 暮らしの場における看取りにあたり、本人や家族との連携、職員への教育及び看取りを行う環境の整備等が課題